

事務事業評価表

○基礎情報

課名		産業振興課		作成責任者						
施策目標	55	多くの人々を誘う魅力あるまちづくりを支援する	石井	智裕						
					常勤職員	常勤職員以外			総従事者	
					管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工
					2 人	17 人	0 人	0 人	2 人	18.10 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
3,722 時間	18.2 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
市内における増加事業所数	103事業所	100事業所	119事業所	105事業所	104事業所
観光客消費額	5,335百万円	5,600百万円	4,845百万円	4,626百万円	4,575百万円
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	企業の安定的な経営支援
2	企業の立地支援
3	茅ヶ崎ブランド製品の販売促進支援
4	魅力ある商店街と個店の育成支援
5	観光資源の開発の促進
6	回遊性の確保

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)														Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止			
1	工業振興支援事業	1	0.71	一般	1,050,000	1,015,000	市内事業者に対して、ホームページや事業所訪問にて制度の紹介を行った。また、ロボット関連事業についての展示会出展について補助内容を拡充した。拡充したロボット関連事業の展示会へ出展する市内事業者もあった。	展示会の出展者数	13人	9人	A	変動なし					
					636,736	426,000											
2	創業者支援事業	1	0.41	一般	3,283,000	1,319,700	創業者または創業予定者に対し、段階に応じた支援を実施することにより市内創業者の増加を図った。具体的には経済団体と連携した創業機運醸成フォーラムやビジネスコンテストの開催をするともに、創業について相談を受けていた方々への情報提供を行った。ビジネスコンテストでは市内事業者が大賞等を受賞した。	特定創業支援事業により支援を受けたことの証明書発行件数	2件	1件	A	変動なし					
					3,160,496	991,299											
3	中小企業経営安定支援事業	1	0.66	一般	1,252,803,000	1,256,860,000	市内に事業所を有する事業者に対して、金融機関と連携して低金利の融資メニューを用意するとともに、一部のメニューについて利子等についての補助事業を実施した。その結果、市内事業者の経営基盤の確立と経営の近代化を促進した。	融資制度の利用件数	215件	194件	S	変動なし	●				
					1,252,698,996	1,250,152,696											

4	産業活性化等調査研究等事業	1	0.13	一般	0	0	市内産業全般の変化を捉えた活性化方法について調査研究を行った。	検討会等の開催回数	年10回	年12回	S	変動なし		
					0	0								
5	商工関係団体支援事業	1	0.20	一般	10,503,000	10,503,000	交付5団体に対して、商工業の健全な発展を図るため、対象の事務局費及び事業費の一部を助成し、商工業振興を推進した。	交付団体数	5団体	5団体	S	変動なし		
					10,030,181	7,803,570								
6	中小企業特許取得支援事業	1	0.04	一般	600,000	0	令和元年3月31日をもって、補助制度は廃止した。発明相談会を毎月第一金曜日に開催し、独自技術の開発や特許取得についての専門家相談を実施し、知的財産権取得の推進及び中小企業の技術製品開発の促進を図った。	補助金の交付件数	3件	0件	S	変動なし		
					549,000	0								
7	優良産業人等表彰事業	1	0.03	一般	105,000	105,000	社会的功績の顕著な者や企業・商店の振興に寄与した地域企業の表彰を行った。	被表彰者・店舗の数	40人・店舗	31人・店舗 (25人・6店舗)	S	変動なし		
					92,500	77,500								
8	特定退職金共済掛金支援事業	1	0.38	一般	1,878,000	1,878,000	中小企業者の人材確保と定着性を図るため、申請のあった104件に、特定退職金共済掛金に対する補助を行った。	補助金交付件数	110件	104件	S	変動なし		
					1,754,600	1,822,600								
9	商工業振興イベント支援事業	1	0.28	一般	1,620,000	1,620,000	市内事業者に対して自社製品等を宣伝する場を用意するとともに、産業フェア来場者に対して、市内事業者の産業製品、特産品等を宣伝することで、企業のPR支援及び市民と一体となった産業の振興と活性化を図った。	産業フェアの来場者数	38,000人	34,500人	S	変動なし		
					1,620,000	1,620,000								
10	さがみロボット産業特区推進事業	1	0.25	一般	0	0	産業フェアにさがみロボット産業特区ブースを設けることで、産業フェア来場者に対して、さがみロボット産業特区のPRを行った。	ロボット産業に取り組む企業の数	1社	1社	S	変動なし		
					0	0								
11	企業等立地等促進事業	2	0.44	一般	41,000	41,000	新たに茅ヶ崎市内へ進出を考えている事業者や市外事業者等に対して、支援制度のPRや説明を行うとともに、市内に既に立地している企業の設備投資等に対しても支援制度の説明等を行い、企業の立地や設備投資の支援を行った。	奨励措置適用件数	15件	8件	A	変動なし		
					41,000	41,000								
12	観光物産等のPR事業	3	0.25	一般	425,000	323,000	市の特産物等を観光案内所及び市庁舎内において展示PRし、産業振興・観光振興を図る。市民に対し、茅ヶ崎市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ内の展示コーナーに名産品コーナー：9区画、ふるさと納税返礼品コーナー：9区画 計18区画)を設け、半期ごとの入れ替え制とし、年間36事業者の展示を行った。	年間展示事業者数	50事業者	36事業者	A	変動なし		
					264,858	219,154								
13	商業振興支援事業	4	0.99	一般	5,460,000	7,288,000	市内の商業者に対しにぎわい創出事業補助金の周知を行った結果事業者から10件の申し込みがあり、交付を行った。	にぎわい創出事業補助金の交付件数	12件	7件	A	変動なし		
					3,537,000	2,932,000								
14	商店街振興支援事業	4	0.33	一般	17,730,000	19,391,000	市内の発展的な取り組みを行う商店街団体に対し相談の場を設ける等の支援を実施することで商店街の魅力向上に努めた。	補助金を活用する商店街団体の数	25団体	23団体	S	変動なし		
					15,463,000	13,290,000								
15	道の駅整備推進事業	5	3.71	一般 繰越	604,662,327	540,879,000	用地取得、盛土造成及び一部歩道拡幅等の工事が完了するとともに、効果的効率的な事業手法の検討を行う等、道の駅の開設に向けて一定の進捗が見られた。	整備事業の進捗	工事完了・運営開始	用地取得、一次盛土工事完了	C	増加		
					264,729,017	444,827,303								

16	茅ヶ崎海岸グランド プラン推進事業	5	0.26	一般	300,000 245,149	267,000 99,770	老朽化が進んでいた単管パイプ製の柵を木柵へ取り替えたことにより、市民・海岸利用者の安全面及び景観上の向上を図ることができた。	茅ヶ崎海岸グランドプランの総合調整協議の進捗率	100%（関係団体との意見交換12回）	100%（関係団体との意見交換12回）	S	変動なし		
17	茅ヶ崎西浜駐車場跡地活用事業	5	0.69	一般	0 0	0 0	関係団体や企業に対し、暫定的なイベント会場や時間貸しの駐車場として活用を行った。	民間活力を活かした土地活用	活用開始	暫定的な活用	A	変動なし		
18	観光シティプロモーション推進事業	5	0.31	一般	148,000 146,396	220,000 205,776	観光振興ビジョンに基づき、市内外に本市の持つ観光資源などのまちの魅力を広く戦略的に発信することにより、観光振興の推進と地域経済の活性化を図った。	観光消費単価（暦年）	2,000円	1,778円	S	変動なし		
19	観光協会運営支援事業	5	0.95	一般	37,090,000 37,090,000	37,131,000 37,131,000	市観光協会の事務局人件費及び維持管理費の補助を行い、組織力の向上及び運営基盤の安定を図るとともに、観光事業に対する補助を行い、観光客の誘致や地域経済活性化の推進を図った。	自主イベント開催回数	4回	0回（天候不順及び新型コロナウイルスの影響により中止）	A	変動なし		
20	観光誘客支援事業	5	0.54	一般	19,492,000 19,492,000	19,551,000 19,551,000	観光客の誘客を図るため、市観光協会に観光ガイドマップ等の作成及び誘客キャンペーン事業に対して補助を行うとともに観光案内所の人件費等運営に関する補助を行い、市外から本市への観光客の誘致を図った。	延べ観光客数（暦年）	356万人	257万人 前年比27%減	A	変動なし		
21	DMO設立支援事業	5	0.40	一般	0 0	10,527,000 6,636,000	DMO法人の登録を目指し、観光協会を主体とした実施体制の構築に取り組むとともに、データに基づく戦略の策定と収益事業の強化に取り組み、継続的な観光地域づくりを図った。	DMO法人登録申請	3月	3月	S	増加		
22	海水浴場運営事業	5	0.51	一般	14,561,000 14,561,000	15,478,440 15,478,440	観光客の誘致を目的に、海水浴場を開設し、利用者の健康づくりとレクリエーションの場を確保することにより、観光振興及び産業の活性化を図った。	海水浴場入込客数	16.1万人	12.4万人 前年比22%減	S	変動なし		
23	観光施設整備事業	5	0.30	一般	2,701,000 2,572,530	2,249,000 2,055,902	観光客及び海岸利用者に対して、観光関連施設等の整備・維持管理のために海岸清掃等を行うことで、海岸の利便性及び魅力を向上させ、利用の促進を図った。	海岸清掃の回数	約280回	215回	S	変動なし		
24	観光資源の回遊性 充実事業	6	0.42	一般	600,000 600,000	600,000 600,000	観光客に対して、回遊性の向上と滞在時間を長期化させる仕組みを関係団体等と連携協議しながら構築し、観光振興の推進と地域経済の活性化を図った。	観光アプリのダウンロード数（累計）	4,000件	8,605件	S	変動なし		

25	大岡越前祭行事支援事業	6	0.52	一般	5,015,000	5,015,000	観光及び商業の活性化を図るため、本市の4大まつりである大岡越前祭(大岡越前祭実行委員会)を支援することで、目標を上回る多くの来場者を誘致することができた。	来場者数	75,000人	83,500人	S	変動なし		
					4,978,887	5,015,000								
26	花火大会行事支援事業	6	0.55	一般	9,032,000	9,032,000	観光振興と観光客の誘致を図るため、本市の4大まつりである花火大会(花火大会実行委員会)に支援を行い、開催に向けて準備を進めてきたが、天候不順により中止となった。	来場者数	75,000人	中止	実績なし	変動なし		
					9,032,000	8,251,619								
27	浜降祭行事支援事業	6	0.25	一般	2,337,000	2,337,000	本市の観光振興と観光客の誘致を図るため、本市の4大まつりである浜降祭(浜降祭実行委員会)に支援することで、目標に近づく多くの来場者を誘致することができた。	来場者数	75,000人	72,000人	S	変動なし		
					2,337,000	2,337,000								
合計					R元予算(円)	1,943,630,140								
					R元決算(円)	1,821,564,629								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課かいはい一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>産業振興課の第4次実施計画の事務事業数は、36事業となっており、うち政策的事業は27事業である。</p> <p>事業評価としては、「S」評価 16事業、「A」評価 9事業となっており、概ねの事業で成果があがったと評価されている。</p> <p>R1年度は、新たに事業No.21「DMO設立支援事業」に取り組んだ他、事業No.25「大岡越前祭行事支援事業」や事業No.27「浜降祭行事支援事業」などのイベントで目標を達成することができたが、事業No.26「花火大会行事支援事業」が荒天で中止となり、事業No.22「海水浴場運営事業」が天候不順で来場者数が落ち込むなどの影響もあり、年間を通じた観光客数は、減少している。事業No.15「道の駅整備推進事業」については、用地取得の遅れ等を理由として令和4年3月オープンを目指すこととしている中で、難航していた用地取得もようやく終了し、一次盛土工事が完了した。産業振興課の事務事業の成果については、社会情勢や天候などの外的要因に左右されることも多く、また、各事務事業の取り組みがすぐに成果として現れないものも多いと考えている。</p> <p>そのため、今後についても、更なる経済活性化の促進のため、継続して事業を実施していくことが求められている。</p> <p>職員の時間外勤務について、総時間は、前年度と比較して増加傾向(平成30年度実績:総時間2,502時間)となっており、新たな実施事業による影響が出ていると想定される。今後も、働き方の見直しや職員の意識改革に取り組むとともに、事務の見直し等を継続して実施し、さらなる労働生産性の向上を図る必要がある。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
3	中小企業経営安定支援事業	中小企業・小規模事業者等が安定した経営を行っていくために、資金的な支援を行っていくことは重要である。併せて、新型コロナウイルス感染症の影響を様々な取組により乗り越え、経営の安定や売上拡大等に関する課題解決のために関係機関と連携して、相談業務の充実と周知を図り、中小企業等を支援していく必要がある。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	事業評価として概ね一定の成果が上がっており、継続して事業を実施するものと考えているが、所管の事務事業の休廃止については、今後も外部団体との調整を踏まえ、引き続き、検討を進めていくこととする。